

## 当社6200系台車き裂の確認と安全対策について

この度、当社6200系車両において、定期検査中の台車にき裂を確認したという事象がございましたので、その後の緊急点検の結果と安全対策についてご報告いたします。

当社線をご利用いただいているお客さまをはじめ、関係する皆さまにご心配やご不安な思いをおかけしますこととお詫び申し上げます。

当社といたしましては、本件を厳粛に受け止め、安全対策を実施し、台車のさらなる安全性の確保に努めてまいります。

なお、今回、確認したき裂は、既に近畿運輸局に報告のうえ、台車メーカーによる補修を実施し、安全を確認しております。

詳細は以下の通りです。

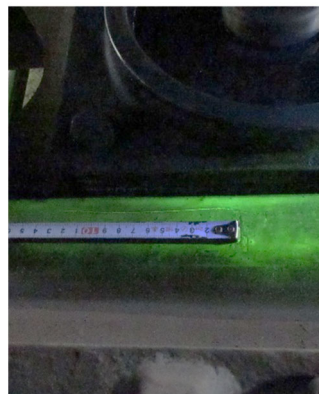
### 1. 概要

#### (1) 緊急点検期間

2021年6月14日～29日

#### (2) 確認されたき裂

6箇所(3両・4台車)



確認されたき裂



補修後

#### (3) 経緯

- ・6月14日、高野線の難波～橋本駅間で運用している6200系の定期検査中に、3箇所(1両・2台車)のき裂(※)を発見しました。

※き裂の長さは、約205mm、約160mm、約45mmです。

- ・その後6月29日までに、6200系と同形式及び類似形式の台車(39両・78台車)につきまして、緊急点検として目視点検及び磁粉探傷検査を行った結果、3箇所(2両・2台車)のき裂(※)を発見しました。

※き裂の長さは、約190mm、約140mm、約130mmです。

### 2. 今後の対応

原因は調査中ですが、今後類似構造の台車への点検を実施していくとともに、原因が判明するまでの間、6200系と同形式及び類似形式の台車に対しては、安全対策として現状4年に1度の頻度で実施している磁粉探傷検査を2年に1度の頻度で行うことといたします。

なお、引き続き、台車メーカーとともに、安全対策を講じてまいります。

以上